※令和３年度以前入学生用

２　地理歴史・公民

学校番号	T2101

令和５年度　地理歴史科

教科	地理・歴史	科目	（併）世界史Ｂ	単位数	４	年次	１～４
使用教科書	『世界史Ｂ』（実教出版）						
副教材等	標準高等地図 - 地図で読む現代社会 -						
レポート	１２通		スクーリング	１６回（内２回は定期考査）			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史Ｂは、人類の誕生から現代までの世界の歴史を学ぶ科目です。毎回各地域や時代ごとの内容をまとめたレポートを配布し、教科書を用いて学習を進めます。そのため、教科書をしっかりと読み、レポートに取り組むことが必要になります。スクーリングではレポートで扱う内容を理解できるよう講義を行います。成績はレポート、授業、テストの結果を総合的に評価します。

世界の歴史を学ぶことで、知識を獲得できるだけでなく、出来事の関係性に注目する視点を身に付けることができます。これは、現在の世界の姿を理解する助けになります。

２　学習の到達目標

① 学習を通して世界史への興味・関心を高め、世界史を学ぶ意義に気づくことができる。
② 歴史を学ぶ中で平和で民主的な社会の形成者としての自覚をもって考える態度を身につける。
③ 世界の歴史を様々な要素と関連付けて、実証的・多角的・多面的・批判的に考察し、自分の考えを適切に表現できる。
④ 世界の歴史を学ぶための諸資料を効果的に歴史の探求に活用することができる。
⑤ 世界史の流れ、基本的な知識を身につけ、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解できる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・世界の歴史を学ぶ意義に気づき、世界史に対する関心を高め、主体的に学習に取り組むことができる。 ・歴史を学ぶ中で、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成する当事者としての視点をもって考える態度を身につけている。	・世界の歴史を、地理的条件、日本の歴史などの様々な要素と関連付けて、実証的・多角的・多面的・批判的に考察し、自分の考えを適切に表現できる。	・世界の歴史を学ぶための諸資料から、有用な情報を適切に読み取り、それらを歴史の探求に効果的に活用することができている。	・古代から現代にいたる世界の歴史の流れ、基本的な知識を理解できる。 ・世界史の枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史とも関連づけながら理解できる。
評価方法	・レポート学習 ・授業への取り組み、発問への回答	・レポート学習 ・定期考査	・レポート学習	・レポート学習 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期（後期も同じ内容で実施）	諸地域世界の形成	・地球と人類の誕生 ・西アジア、地中海世界 ・南アジア、東南アジア世界 ・東アジア世界 ・中央ユーラシア関後東アジア世界の展開	○	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:世界史を学ぶ意義を考え、様々な歴史的要素や世界史の展開について関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる b:古代史の展開、文化圏の交流、日常生活について歴史的に考察し、適切に表現できる。 c:古代史の展開、自然環境や文化圏の交流、日常生活についての資料を適切に読み取り、考察に活用することができる d:人類の出現から古代文明の発生と中世に至る展開、特色ある地域文化圏の形成と交流のあり方を理解し、知識が身についている。	レポート学習 授業での活動 定期考査
	諸地域世界の交流	・イスラームの広がりと西アジア世界の展開 ・ヨーロッパ世界の形成と展開 ・中央ユーラシア世界と諸地域の交流・再編	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:宗教や文化のあり方に関心を持ち、主体的に学習に取り組みレポートを作成できている。 b:宗教や地理的特徴と国家成立との関連や地域・国家間の交流とその影響について実証的・多面的に考察することができる。 c:各地域の特徴や宗教・文化のあり方を理解するために、図や写真を活用できている。 d:諸地域の歴史や文化、キリスト教とイスラーム両宗教に関する基本的事項を理解し知識が身についている。	レポート学習 授業での活動 定期考査
	一体化にむかう世界	・近世ヨーロッパと大航海時代 ・アジア諸地域の帝国と第二次大交易時代 ・環大西洋革命とパクス＝ブリタニカ ・近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:諸地域の歴史を「世界規模の展開」「世界の一体化」の点から捉え、関連性に注目できる。 b:ヨーロッパの出来事や世界規模の貿易の進展が周辺地域に与えた影響と結果について考察し、まとめることができる。 c:この頃の様子を示した図や写真を活用して、課題を解くことができる。 d:諸地域の出来事や影響が広まる過程を整理して理解している。	レポート学習 授業での活動 定期考査
	地球世界の到来	・地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗 ・二つの世界大戦 ・冷戦から多極的国際社会へ	○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:近・現代史の関連に注目し、地域や社会の当事者としての意識を持ちつつ学習を進める。 b:現在の国や地域のあり方を過去の歴史と結びつけて考え、実証的・多面的に考察する。 c:当時の社会の様子や出来事を考える際に、図や写真を参照することができる。 d:二つの世界大戦や国家間対立、支配に対する抵抗運動の進展などを背景を踏まえて理解し、知識を身につけている。	レポート学習 授業での活動 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。